



JpGU Meeting 2021 第1回オンライン説明会

2021年2月10日

大会運営委員長 和田 浩二(千葉工業大学)

大会について

プログラム

投稿・発表

参加・登録

イベント・表彰

展示・会合

Japan Geoscience Union Meeting 2021

On-site : MAY 30 - JUNE 1, 2021

Online : JUNE 3 - JUNE 6, 2021

On-site at YOKOHAMA & Online all over the WORLD

For a Borderless World of Geoscience

2021 Meeting Website

KEY DATES

- 2021/1/13 投稿受付開始 NOW!
- 2021/2/04 投稿早期締切(23:59)
- 2021/2/18 投稿最終締切(17:00)
- 2021/3/22 採択通知
- 2021/3/24 プログラムウェブ公開
- 2021/4/初旬 発表者用早期参加登録開始
- 2021/4/中旬 一般参加者早期参加登録開始
- 2021/4/下旬 早期参加登録締切
- 2021/5/初旬 発表者用ウェブ公開
- 2021/5/中旬 一般参加者ウェブ公開
- 2021/5/30-6/01 JpGU2021 現地開催

PROGRAM

開催セッション

(2020/12/21版)

*開催予定セッション詳細
(タイトル, コンビナー, スコープ等)

コマ割

(2020/12/21版)

*セッション開催日時案

発表プログラム

2021/03/24公開予定

*セッション内での発表情報
(タイトル, 著者, 発表形態, 日時等)

*コマ割は投稿状況により変更になる場合があります

NOW ACCEPTING

- 2月10日開催 大会参加者説明会 : 参加者募集中
- 投稿 : 最終締切 2月18日17:00

ONSITE GUIDE

開催方式：ハイブリッド方式

5/30(日) - 6/ 1(火): 現地(パシフィコ横浜ノース)開催
(ポスター発表メイン, そのほかに特別口頭講演, イベント)

6/ 3(木) - 6/ 6(日): オンライン開催

口頭発表:

- 通常セッションの口頭発表は基本的にZoomでオンライン開催期間にライブ講演
- 現地の特別な講演もZoomでオンライン中継
- 現地開催縮小・中止の場合はそのままの日程・プログラムでオンライン講演
 - 現地開催の縮小・中止は参加人数見積もり・COVID-19感染状況をみて4月末までに判断します。会期直前の中止もあり得ます。

ポスター発表:

- ポスター発表は全てオンライン上に掲示(プラットフォームとしてConfitを使用)
- 希望者には現地ポスター発表もしていただけます。現地ポスター発表希望は投稿時に表明のこと。

スケジュール(1/2): 投稿～採択・プログラム公開

日	イベント	備考
12/04(金)	開催セッション一般公開	
12/21(月)	投稿前コマ割り一般公開	
1/13(水)-2/18(木)17:00	投稿受付	早期〆切:2/4(木)23:59 2/10(水)にオンライン説明会予定(Today!)
2/25(木)-3/03(水)	投稿採択(コンビーナ)	
3/05(金)	コマ数確定(プログラム委員会)	
3/08(月)-3/15(月)	セッション内プログラム編成(コンビーナ)	
3/22(月)	採択通知	
3/24(水)	プログラム公開	

※高校生発表は別途案内通り(ウェブサイト参照のこと)

スケジュール(2/2): 参加登録～ポスター資料提出・掲示～開催

日	イベント	備考
4/01(金)(TBC)～	オンライン参加の登録開始	会期中まで受け付けるが、なるべく指定期日(TBA)までに登録ください。リアルタイムには対応できません。
4/01(金)～4/14(水)(TBC)	現地参加の早期登録(現地発表者優先期間)	現地ポスター発表希望は投稿時に表明。
4/15(木)～4/20(火)(TBC)	現地参加の早期登録	先着順。上限に達したらキャンセル待ち
4/21(水)(TBC)～	現地参加の通常登録	先着順。上限に達したらキャンセル待ち。キャンセルは5/7(金)(TBC)まで
5/11(火)(TBC)	プロテクト希望のオンラインポスター資料提出×切	*プロテクト=DL不可, コピー不可など
5/21(金)	予稿PDF公開	
5/27(木)(TBC)	オンラインポスター掲示×切	プロテクトを希望しない(or自分でかける)場合は、発表者がアップロードが可能
5/30(日)-6/01(火)	現地開催	5/30はパブリックデー
6/03(木)-6/06(日)	オンライン開催	6/6はパブリックデー

料金体系(税込):

オンライン参加の登録料は早期と通常区別なし

現地参加の登録は一日券のみ発行

身分	早期投稿料	通常投稿料	オンライン参加の登録料	現地参加の早期一日券	現地参加の通常一日券
一般会員	6,600	8,800	11,000	4,400	8,800
非会員一般	6,600	8,800	22,000	8,800	17,600
会員学生/教員/シニア	6,600	8,800	5,500	3,300	6,600
非会員学生/教員/シニア	6,600	8,800	11,000	6,600	13,200
学部生以下/パブリック	0	0	0	0	0

✓ 早期の投稿料とオンライン参加登録料を合算すると2020年大会と実質的にはほぼ同額

- 投稿料およびオンライン参加登録料は原則返金なし
- 現地参加券は設定した期日を過ぎれば返金なし。ただし、運営側都合(現地中止など)や当日体調不良(自己申告)の場合には返金する。
- 現地参加券は日付指定で事前登録購入してもらう(入場者・数管理のため)。また現地発表者優先かつ枚数制限(2000名/day?)を設ける。
- パブリックは、パブリックデーのみ参加可とする。

参加登録について

オンライン参加の登録

- 全参加者(発表者も含む)必須。現地参加のみを予定している場合でも、お願いします。
- ポータルサイト(Confit)にログインするID/パスワードを発行します。リアルタイムには対応できません！

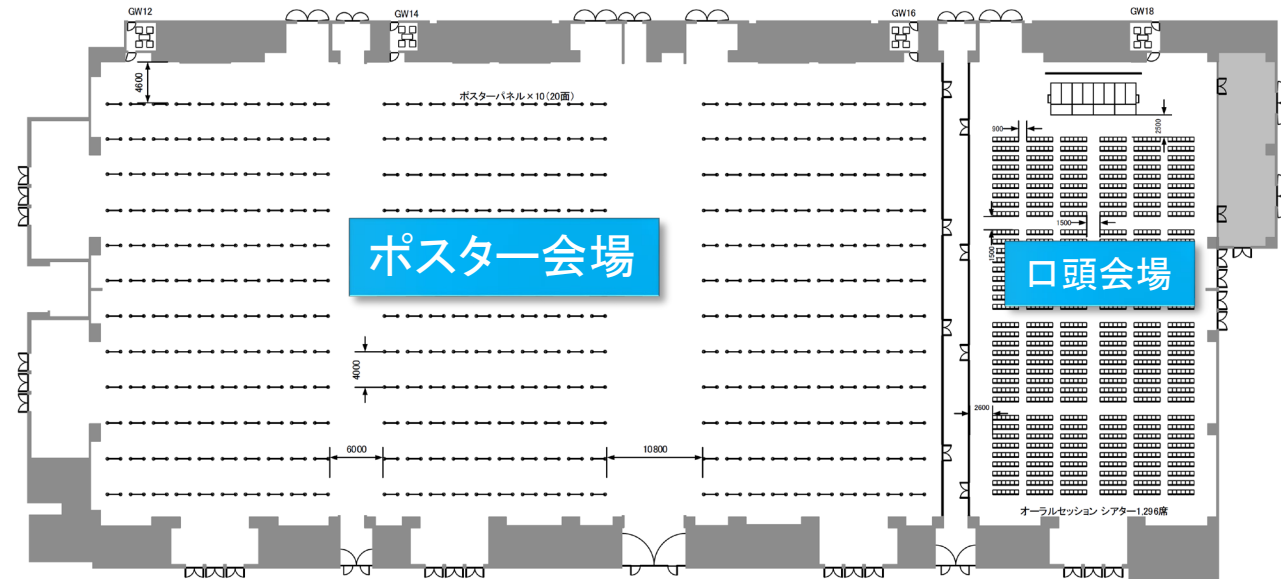
現地参加の登録

- オンライン参加の登録をしていただいたうえで、現地参加希望の方にご登録いただきます。
- 事前完全登録制を予定。一日の参加者数上限を設けます。先着順(現地発表者優先期間を設けます)。希望する参加日ごとに一日券を購入していただきます。

日	イベント	備考
4/01(金)(TBC)～	オンライン参加の登録開始	会期中まで受け付けますが、なるべく指定期日(TBA)までに登録ください。 リアルタイムには対応できません。
4/01(金)～4/14(水)(TBC)	現地参加の早期登録(現地発表者優先期間)	現地ポスター発表希望は投稿時に表明。
4/15(木)～4/20(火)(TBC)	現地参加の早期登録	先着順。上限に達したらキャンセル待ち
4/21(水)(TBC)～	現地参加の通常登録	先着順。上限に達したらキャンセル待ち。キャンセルは5/7(金)(TBC)まで

現地開催： パシフィコ横浜ノース1Fを3日間貸し切り

- 完全事前登録制(バーコード発行)
- 受付時に検温消毒などルールを整備予定
- ポスターボード縦型330枚(掲示数660枚): 指定日に終日掲示(希望多数の場合は策を練る)。
- ポスターコアタイムを設定(1日2回予定)
- 口頭会場: 座席数(一つ飛ばしで)648, Zoomライブ中継予定. ランチタイム休憩場兼用
- 定員: 一日最大2000人?
- 休憩スペースを設ける予定
- 出展ブースなし(デジタルサイネージにPR動画)
- 会議室をいくつか借り上げ希望団体に時間貸しすることも検討



会場の感染対策取り組み

<https://www.pacifico.co.jp/visitor/tabid/690/Default.aspx>

現地開催口頭講演案：1会場ライブ中継

5/30(日)	パブリック中心+イベント
AM1	オープニング+イベント(講演会 or Late Breaking Session?)
AM2	パブリック(O-01 地球・惑星科学トップセミナー)
昼休憩	高校生ポスターのフラッシュトーク(事前録画orオンラインプレゼン, 期間中オンデマンド配信予定. 審査対象外)
PM1	パブリック(O-02 自然災害と人~ジオパークで地球の声に耳を澄ます~)
PM2	NASA/JAXAイベント
5/31(月)	ユニオン中心
AM1	ユニオン(U-01 地球惑星科学コミュニティと日本学術会議)
AM2	ユニオン(U-01 地球惑星科学コミュニティと日本学術会議)
PM1	ユニオン(U-02 東北地方太平洋沖地震から10年ー地球科学の到達点)
PM2	ユニオン(U-02 東北地方太平洋沖地震から10年ー地球科学の到達点)
6/1(火)	ユニオン中心+イベント
AM1	ユニオン(U-03 「はやぶさ2」地球帰還！太陽系科学の最前線)
AM2	イベント(表彰式+講演会)
PM1	ユニオン(U-04 JpGUにおけるSDGsの推進)
PM2	ユニオン(U-09 包摂的協働によるSDGs推進II:地域社会への関与)

オンライン開催

口頭発表

- Zoom使用(アプリ版)を予定(ConfitのタイムテーブルにZoomリンクが張られる)。26チャンネル/day
- 1講演15分, 1コマ90分(6講演)をデフォルトとする。
- AM1(9:00-10:30), AM2(10:45-12:15), PM1(13:45-15:15), PM2(15:30-17:00)

ポスター発表

- Confitの各発表情報欄に掲示
- PDFのほか動画の掲載も可能
- ダウンロード不可・コピー不可としたい場合は5/11までに提出。そうでなければ自分でアップロード可能(動画はYouTube等へアップしタグを張り付ける)。
- コメント機能, タグ機能, いいね!(既読)ボタン, ...
- ポスターコアタイムは, PM3(17:15-18:30)

参加者のコミュニケーション専用として, 別のプラットフォームも検討中(e.g., Spatial Chatなど).

The screenshot displays the website for the 20xx年 Confit 学会学術大会. The main navigation includes links for TOP, セッション一覧, ポスター演題, and セッション情報. The 'セッション情報' section shows details for a session titled '[DEMO11] テストセッション⑩(e-poster)'. It lists the organizer as 'オーガナイザー: アトラス 座長(AAA大学)' and provides a link to view e-posters. Below this, three demo sessions are listed: [DEMO11-1] テスト演題(e-poster), [DEMO11-2] テスト演題(e-poster), and [DEMO11-3] テスト演題(e-poster). Each entry includes a title, a list of authors, and options for PDF download, scheduling, and comments.

On the right side, there is a search bar for presentations, a sidebar with logos for Atlas, Editorial Manager, and SMOOSY, and two advertisement boxes labeled '広告 1' and '広告 2'. A 'デマンド Web' button is also visible.

At the bottom, a schedule table is shown with columns for time slots (9, 10, 11, 12) and rows for sessions. The 10:00-11:00 slot is highlighted in yellow and contains links for live sessions: [DEMO1] テストセッション①(LIVE配信), [DEMO2] テストセッション②(LIVE配信), [DEMO3] テストセッション③(LIVE配信), [DEMO4] テストセッション④(LIVE配信), and [DEMO5] テストセッション⑤(LIVE配信). Each entry includes a 'Live会場はこちら (Zoom)' link. A 'デマンドリンク用 [DEMO100] オンデマンド配信はこちら' link is also present. A 'オンデマンド配信はこちら' button is located at the bottom right of the table.

オンライン口頭講演

▶各セッション名をクリックするとセッション詳細をご覧ください。

チャンネル	6月3日(木)				6月4日(金)				6月5日(土)				6月6日(日)				チャンネル
	AM1	AM2	PM1	PM2	AM1	AM2	PM1	PM2	AM1	AM2	PM1	PM2	AM1	AM2	PM1	PM2	
Ch.01	U-05 [E] GEOethicsの発展	U-06 [J] 1時間でわか	U-07 [J] 日本の学術出	U-08 [E] Advancing	U-10 [E] 知の創造の価	U-11 [E] 多様性と平等	U-12 [E] From Hazard	U-13 [E] Advanced		U-15 [J] 連合の巨大地	U-14 [J] 変動する地球	O-04 [J] GIGAスクールと地球惑星科学	O-05 [J] 博士ってどう	O-02 [J] 自然災害と人	Ch.01		
Ch.02	P-PS02 [E] Recent advances of Venus science and coming	P-CG17 [E] 宇宙・惑星探査の将来計画および関連する機器開発			P-PS01 [E] Outer Solar System Exploration	M-IS12 [J] 惑星火山学	M-IS14 [J] 水蒸星学					O-03 [J] 変化する気候下での強風・豪雨災	O-06 [J] 「東日本大震	G-01 [J] 災害を乗り	Ch.02		
Ch.03	M-GI34 [J] 情報地球惑星科学と大量データ処	M-GI31 [E] Open and FAIR Science: Data		M-GI35 [J] 計算科学が拓	P-PS05 [J] 月の科学と探査	M-SD39 [E] Micro-	M-IS07 [E] Effects of lightning, severe	M-IS17 [J] 結晶成長、溶解における界面・ナ				G-02 [J] 地球惑星科学のアウトリーチ	G-03 [J] 小・中・高等学校、大学の地		Ch.03		
Ch.04	P-CG18 [J] 惑星大気圏・電磁圏	P-PS06 [J] 惑星科学		P-CG19 [J] 宇宙における物質の形成と進化	P-PS07 [J] 太陽系物質進化			P-PS03 [E] Regolith Science				P-PS04 [E] 太陽系小天体：はやぶさ2等の宇宙ミッションからの新展開			Ch.04		
Ch.05	P-EM11 [E] Coupling Processes in the Atmosphere-Ionosphere System			P-EM13 [E] 太陽地球系結合過程の研究基盤形成		M-IS10 [E] 宇宙・銀河・	P-EM12 [E] Dynamics of the Inner Magnetospheric System					P-EM09 [E] Dynamics of Magnetosphere and Ionosphere			Ch.05		
Ch.06	A-AS06 [J] 成層圏・対流圏過程とその気候への影響	A-CG43 [J] 地球環境科学		P-EM15 [J] 宇宙プラズマ理論・シミュレー	P-EM08 [E] 宇宙天気・宇宙気候			P-EM14 [J] 太陽圏・惑星間空間				P-EM10 [E] Frontiers in solar physics	P-AB16 [E] 系外惑星		Ch.06		
Ch.07	A-AS03 [E] 台風研究の新展開～過去・現在・未来	A-OS18 [J] スーパーコンピュータを用いた気	A-AS07 [E] 大規模な水蒸気場と組織化した			A-CG30 [E] 熱帯におけるマルチスケール大気海洋相互作用	A-OS16 [J] 全球・海盆規					A-AS02 [E] Extreme Events: Observations and Modeling			Ch.07		
Ch.08	A-CG36 [E] 衛星による地球環境観測	A-CG33 [E] 静止軌道衛星	M-SD40 [J] 将来の衛星地球観測	A-CG35 [E] 地球規模環境変化の予測と検出	A-CG34 [E] Global Carbon Cycle	A-CG37 [J] 陸域生態系の物質循環						A-AS05 [J] 大気化学			Ch.08		
Ch.09	M-GI29 [E] Data assimilation: A	A-OS09 [E] Climate variability and	A-OS15 [J] 沿岸域の海洋循環と物質循環	A-CG32 [E] Land-Atmosphere interactions	A-OS19 [E] Ocean Mixing Frontiers	A-OS14 [J] 沿岸域にお						A-OS08 [E] Ocean	M-AG38 [J] 福島原発事故から10年：放射性核種の環境動態		Ch.09		
Ch.10	A-CG40 [J] 沿岸海洋生態	A-CG41 [J] 沿岸海洋生態系-2、サンゴ礁	A-CG44 [J] 海洋表層一	A-CG29 [E] 中緯度大気海洋相互作用	A-AS04 [E] Machine Learning Techniques	A-OS19 [J] 海洋物理学一般	M-IS20 [J] 地球科学としての海洋プラステッ					M-IS24 [J] 地球流体力学	A-CG38 [J] 海洋と大気の波動・渦・循環の力学		Ch.10		
Ch.11	A-OS10 [E] 陸域海洋相互作用-惑星スケー	A-CG42 [J] 陸域-沿岸域における水・土砂動	A-CG39 [J] 北極域の科学	A-OS17 [J] 海洋化学・生	A-OS13 [E] Marine ecosystems and biogeochemical cycles:	A-OS12 [E] Physical,						M-IS25 [J] 大気電気学	M-IS05 [E] 南大洋・南極氷床が駆動する全球気候変動		Ch.11		
Ch.12	A-GE27 [E] 地質媒体における流体移動、物	A-GE28 [E] エネルギー・環	A-CG31 [E] 航空機・無人	A-HW22 [E] 流域生態系における物質輸送と循環：源流から沿岸	M-GI30 [E] Near Surface	A-HW21 [E] 水循環・水環境						A-HW23 [J] 都市域の水環	M-IS26 [J] 同位体水文学2021	M-IS26 [J] ガスハイドレートと地球環境・資	Ch.12		
Ch.13	A-CC25 [J] ニューノーマルの雪氷学	A-CC26 [J] アイスコアと古環境モデリング	M-IS23 [J] 山の科学	M-ZZ47 [E] 再生可能エネ	A-HW21 [E] 地域の気候変動適応策を支える学際研究							M-GI32 [E] GEO-地球観	M-IS01 [E] Environmental, socio-	M-TT43 [J] インフラサウンド及び関連波動が	Ch.13		
Ch.14	H-CG21 [E] 堆積物重力流：流れの発生・ダ	H-CG28 [J] 堆積・侵食・	H-CG20 [E] 景観評価の国	H-GM03 [E] 地形	H-GM02 [E] Geomorphology	M-TT41 [E] 人新世にお	H-TT13 [E] Environmental Remote Sensing	H-TT18 [E] 環境リモート	H-TT18 [E] Natural	H-DS06 [J] 地理情報システムと地図・空間表	H-TT19 [E] Geographic Information			H-TT14 [E] Geographic Information	Ch.14		
Ch.15	H-TT17 [J] 浅部物理探査が目指す新しい展開	H-RE12 [J] 資源地質学	M-ZZ46 [J] 海底マンガ	H-SC05 [J] 地球温暖化防止と地学（CO2地中貯留・有効利用、	H-CG25 [J] 人間の社会活		M-IS06 [E] Human-	M-IS09 [E] Weathering	H-TT15 [E] Non-	H-CG29 [J] 圏外環境にお	H-CG26 [J] 気候変動への	H-DS08 [J] 人間環境と災害リスク			Ch.15		
Ch.16	H-TT16 [J] 環境トレーサビリティ手法の開発	M-ZZ45 [J] 湿地の価値と	H-DS11 [J] 海底および水	M-IS11 [J] 生物地球化学	H-GG01 [J] 自然資源・環	H-QR04 [J] 第四紀：ヒトと環境系の時系列	H-DS10 [J] 湿潤変動帯の	H-DS07 [J] 中部日本にお	H-DS07 [J] ジオパーク	M-IS22 [J] 地質と文化	M-ZZ48 [J] 歴史学×地球惑星科学	M-IS27 [J] 地質学×地球惑星科学			Ch.16		
Ch.17	M-TT42 [J] 地球化学の最前線	S-CG42 [E] 地球深部とダ	M-IS03 [E] 津波とその予測	H-DS09 [J] 地球科学の科	M-ZZ44 [J] 原子力と地球惑星科学	H-CG23 [E] Nuclear	H-CG22 [J] 日本の原子力	H-CG27 [J] 東北地方太平洋沖地震から10年				S-CG54 [J] 津波堆積物：東北地方太平洋沖地			Ch.17		
Ch.18	S-CG52 [J] 機械学習による	S-TT37 [J] 最先端バズ	M-GI33 [J] データ駆動地球惑星科学	S-TT35 [J] 地殻観測・処理システム	S-SS02 [E] Seismological advances in the	S-SS09 [J] 地震波伝播・理論と応用		S-SS11 [J] 強震動・地震災害				S-CG53 [J] 地震動・地殻変動・津波データの			Ch.18		
Ch.19	S-SS07 [J] 地殻構造	S-CG51 [J] 広域観測・裾野的実験連携による	M-IS19 [J] 海底-海面を	M-IS18 [J] 地球探測科学		S-CG45 [J] 海洋底地球科学		S-CG41 [E] ハードロック掘削科学-陸上掘削から深海底掘削				S-CG55 [J] 沈み込み帯へのインプット：海洋			Ch.19		
Ch.20	S-SS06 [J] 地震活動とその物理		S-SS08 [J] 地震発生の物理・断層のレオロジー			S-CG46 [J] 地球惑星科学におけるレオロジー	S-MP24 [E] Supercontinents and Crustal	S-MP25 [J] 変形岩・変成岩とテクトニクス				M-AG37 [E] CTBT IMS			Ch.20		
Ch.21	S-CG50 [J] 変動帯ダイナミクス	S-SS10 [J] 活断層と古地震		S-CG49 [J] 島弧の構造・進化・変形とプレ		S-TT38 [J] ハイバフォー	S-CG39 [E] Science of slow earthquakes: Toward unified understandings of whole earthquake					S-EM13 [J] 地磁気・古地磁気・岩石磁気			Ch.21		
Ch.22		S-SS05 [J] 地殻変動	S-GD01 [J] 測地学・GGOS			S-TT36 [J] 合成開口レーダーとその応用	S-SS03 [E] New insights in Earthquake	S-SS04 [J] 地震予知・予				M-IS08 [E] Interdisciplinary studies on pre-earthquake			Ch.22		
Ch.23	S-EM14 [J] 電気伝導度・地殻活動電磁気学	S-EM12 [E] Electric,	S-TT34 [J] 空中からの地	S-CG43 [J] 活断層による	S-CG47 [J] 地殻変動の要	S-GL22 [J] 地球年代学・同位体地球科学	S-IT20 [E] MAGMA,	S-GC32 [E] Volatiles in the Earth - from	S-IT17 [E] 地球型惑星内			S-MP26 [J] 鉱物の物理化学	S-CG44 [J] 岩石・鉱物・資源		Ch.23		
Ch.24	S-IT18 [E] 惑星中心核：内部構造・形成・	S-IT21 [J] 固体地球科学と材料科学の融合が	S-IT15 [E] 地球深部科学-核・マントルの	S-IT16 [E] Structure and Dynamics of		S-GL23 [J] 日本列島および東アジアの地質と	S-GC33 [J] 固体地球化学・惑星化学					S-IT19 [E] 東アジアにおけるジオダイナミ	S-CG40 [E] Active Tectonics and Seismic		Ch.24		
Ch.25	M-AG36 [E] Satellite Land	M-IS21 [J] 化学合成生態	S-VC30 [J] 火山・火成活動および長期予測	S-CG48 [J] 地球深部のマ	S-VC28 [J] 活動的火山		S-VC31 [J] 火山噴火のダイナミクスと素過程					M-IS13 [J] 火山噴煙・積	S-VC27 [J] 火山防災の基	S-VC29 [J] 火山の熱水系	Ch.25		
Ch.26	B-CG03 [E] 地球惑星科学 生命圏フロンティア	M-IS02 [E] アストロバイオロジー	B-CG04 [J] 地球史解説：異時代から現代まで	M-IS16 [J] 気候・古海洋変動		M-IS28 [J] 遠洋域の進化						M-IS04 [E] Evolution and	B-PT02 [J] 地球生命史	B-PT01 [E] 生物鉱化作用 (バイオミネラリ	Ch.26		
チャンネル	AM1	AM2	PM1	PM2	AM1	AM2	PM1	PM2	AM1	AM2	PM1	PM2	AM1	AM2	PM1	PM2	チャンネル

学生優秀発表賞

実施します。エントリーには発表投稿が必要です。

実施・エントリー方法は近日案内予定。

イベント企画

JAXA-NASAイベント「JAXAとNASAの太陽系探査2021」

- 5/30(日)PM2枠
- 中高生・博物館学芸員を対象
- 会場＋オンライン

ランチタイムスペシャルレクチャー

- オンライン開催期間(6/3-6/6)のランチタイムに各セクション推薦の方に講演していただく。

表彰式＋講演会

- 6/1(火)AM2枠で現地予定

キャリアブース

- 2020年大会と同様, オンラインで実施予定

その他

ご投稿・ご参加
よろしくお願ひします！
